

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月16日更新

事務事業名		保護司会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	17	防犯対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	津留 京弥
	施策の柱	53	防犯意識の高揚と地域防犯対策			所属班	交通防災班	(内線)	1242
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10033	根拠法令	保護司会法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・犯罪予防運動、犯罪を犯した者の更生等の行う保護司会の支援事業である。
【業務の流れ】	・負担金の支出・研修への引率
【主な予算費目】	・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	保護司会運営活動費の負担と保護司が主催する会議に参加し、活動を支援した。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		・保護司会研修の引率。 ・保護司会へ負担金。 ・新任保護司候補者の内申書作成。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ イ: 関連行事参加のべ人数		菊池地区保護司会合志分会負担金の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・保護司会		→ ア: 会員数 (単位) 人
		→ イ: (単位) 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・目的に沿った活動を行なえるようになる。		→ ア: 保護司会合志分会実施事業数 (単位) 回
		→ イ: (単位) 回
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
・保護司としての職務を円滑に行うことができたかどうかを判断するには、保護司自身に回答をもらうこととした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込	
① 活動指標	ア 人		300	300	300	300	300	300	300	300	
	イ										
② 対象指標	ア 人		22	22	22	21	22	22	22	22	
	イ										
③ 成果指標	ア 回		39	39	39	39	39	39	39	39	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	81	81	112	81	109	109	109	109
		(A) 事業費計	千円	81	81	112	81	109	109	109	109
		(A)のうち指定経費	千円	81	81	81	81	78	78	78	78
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	2
人件費	延べ業務時間	時間	120	120	120	120	120	120	120	120	
	(B) 人件費計	千円	473	475	478	473	478	478	478	478	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	554	556	590	554	587	587	587	587	

事務事業名	保護司会活動支援事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 負担金の支払い、及び市と連携し啓発活動を実施し目標を達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 保護司の活動は円滑に行われており、次年度も同様にこれを行っていくため目標達成の見込みはある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・現在、保護司の活動は円滑に行われており、これを維持していくものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・保護司会への支援を行う事業は本事業のみである。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・負担金のみの支出であり、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ・負担金支払いと研修の業務であり、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ・犯罪を犯した者の社会更生を行なう保護司の団体である保護司会の運営を支援することが目的であり公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ・保護司会の活動は青少年の健全な育成と罪を犯した人の更生を目的としており、これは安全安心なまちづくりに寄与する活動であるので、市の支援は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

保護司が犯罪や非行を犯した人の更生を行なうことにより、犯罪発生の抑止となる。  
また、中学校等と連携した活動により、犯罪の未然防止活動も行なわれており、保護司会の活動は地域の犯罪抑止に大きく貢献していると感じられる。  
保護司会の円滑な活動のため、今後もこの連携を維持していかなければならない。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						